

## きのこの駒打ち体験

私たち朝日庄内森林生態系保全センターは、「みどりの保育園推進事業」の一環として、西荒瀬保育園（酒田市）の園児たちと一年を通して、さまざまな森林体験を行っています。今回はその第一弾として、保育園に隣接する国有林「しんちゃんの森」（遊々の森）において、年長組の園児たちとシイタケやナメコといったキノコの駒打ち体験を行いました。



センター職員による作業内容説明



園児によるきのこ駒打ち体験

はじめての作業に、最初は手元のおぼつかない子もいましたが、保育園の先生やセンター職員と一緒に駒を打っていくうちに、すぐに慣れて、元気いっぱい、次々とほだ木に駒を打ち込んでいきました。



ほだ木を運ぶ園児たち



木陰に立てかけて完成です

今日駒打ちしたほだ木にキノコが出るのは来年、再来年。それを食べることができるのは、年中組や年少組といった下の年齢の園児たちになります。西荒瀬保育園では、毎年このようにキノコのリレーをしていて、私たち朝日庄内森林生態系保全センターもそのお手伝いをしています。